

香友会だより

いあいさつ



同窓会会長
谷本 智昭

香友会会員の皆様には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃より香友会並びに母校のためにご理解とご尽力を賜り心からお礼申し上げます。

まずは、今回の東日本大震災で被害に遭われた皆様に心からお見舞い申し上げます。早く希望の感じられる日々が訪れますことをお祈りしたいと思います。

さて、母校の創立100周年記念行事がいよいよ今年の十一月と迫る中、準備の方も急ピッチで進んでいます。なかでも、南高のシンボルとなる新しい本館が昨年二月に完成し、周辺も整備され素晴らしい景観となっています。

創立100周年記念事業については、これまでに六回の実行委員会を開催し、校史「百年史」の製作業者や「創立100周年記念事業賛助募

金趣意書」の内容、そして「100周年記念庭園」の業者及び「ミニメント」の制作者、100周年記念室の実施設計内容などそれぞれ決定し、準備を鋭意進めているところであります。記念庭園及び記念室は六月着工の予定です。

同窓会として最大の事業は募金活動でしたが、昨年八月末を一区切りとし、今年三月末で終了しました。これまでに募金にご協力賜りました皆様方には心からの御礼と感謝を申し上げます。

それにしても、長引く経済不況と募金活動が重なり、世話人様の並々ならぬご協力やご尽力を頂きましたが、目標額にはとうてい及ばない誠に厳しい現実となりました。会長自身の不徳の致すところであり申し訳なく思っています。

そこで、100周年記念室の増築工事に創立80周年記念事業募金会計より、その一部を組み入れ充てることを理事会でご承認を頂き、その方針を進めています。

また、創立100周年記念式典当日、実行委員会主催の祝賀会を開催

する予定です。

今こそ、同窓の絆を強め、創立100周年記念事業が成功裡に終了できますよう格段のご支援とご協力を重ねてお願い申し上げます。最後に、会員皆様方のご健康とご多幸を祈念申し上げます。

いあいさつ



校長
平尾 敏彦

野や山の緑が濃くなり、本格的な夏への確かな歩みを感じられる中、香友会の皆様にはご健勝でお過ごしのこととお慶び申し上げます。

いよいよ、本校にとって学校創立百周年の年度を迎えました。四月の入学式で高校生二六〇名、専攻科生三十三名が新たに加わり、現在全校生徒八四〇名が学習に、学校行事に、また部活動に日々汗を流しております。

香友会の皆様をはじめ本校関係者にとって記念すべき春は、我が国に



発 行 者

香川県立高松南高等学校
同窓会会長 谷本智昭
香川県高松市一宮町531
印刷所 (株)中央印刷所

とっては大変厳しいものとなりました。三月に起きた東日本大震災の被害は千年に一度の規模と強大さといわれ、多くの人たちの人生を変えてしまい、日本国と日本社会は大きな変化を余儀なくされています。

三月十一日の大地震のあと、全日制生徒会と専攻科生徒会には直ちにメッセージと義援金募りに動き出しました。十七日の全校集会で、この度犠牲になられた方々のご冥福をお祈りし全員で黙祷を捧げ、二十三日の合格者招集日には、まだ入学していない合格者やその保護者の方々にも呼びかけ、総額三十三万二千八百十六円を月末に日本赤十字社を通じて被災地に送金しました。生徒たちの企画力と行動力に感心した次第です。

今回の地震は、私たちのより身近な地震について考える機会にもなりました。南海地震は、過去千年余りの活動記録が残されている世界的にも例をみない地震だそうです。それによると、一〇〇年から一五〇年周期でマグニチュード8クラスの海溝型地震がたびたび発生しています。直近の発生は、六十五年前の昭和二

十一年十二月です。

次代を担う生徒たちには、この度の大震災をはじめ東南海、南海地震などの事実をしっかり受け止め、近い将来、社会を直接支えることができるよう、その基礎となる力をしっかりと身につけたいと強く願っています。

先日、一宮地区のコミュニティ協議会に出席した折、本校の生徒たちによる地区内花壇の花の植え替えや、防災訓練での活動などを通して南高が地域から大きな信頼を得、期待されていることを実感しました。防災訓練の見直しが求められている中、地域における役割を果たす使命感をもった人材育成の重要さを改めて強く感じた次第です。



モニュメント原型完成

テーマ 「時を超えて」

創立百周年記念事業の一つとして小野啓亘氏（昭和五十四年卒）に依頼しているモニュメント二体の原型が完成し、平成二十二年度の日彫展及び日展にそれぞれ出展された。今後、二体は合体されて、100周年記念モニュメントとして本校北体育館前のピロティに設置の予定である。



第42回日展「時を越えてーM氏の場合」



第40回日展「寛奈V一時を越えて」

支部だより

〈関西支部だより〉

関西支部長 太田 喬

隔年に開いている香友会関西支部の第13回総会・懇親会(6月11日、大阪・道頓堀ホテル)は、今回の

「香友会だより」が発行されるころには終わっていると思います。報告できないのが残念です。

支部総会に先立って役員会を開きました。昭和63年に関西支部が産声をあげて、これまでやってきた活動についての反省や意見が相次ぎました。

発言の主なものを…

【組織の見直し】

総会出席者の

顔ぶれを見ると、若年層の不参加が目につく。会の魅力に問題はないのか。

▼地域や卒業学年、学科別等で幹事役を選んで仲間を募り、同級会も兼ねた場に提供するなどの工夫もあった。いいのでは。

【名簿と総会案内】

同級会に参

加して「総会に出席したいが案内状が来たことがない」と言われた。他にも名簿漏れがあるのでは。

▼千通ほど出している総会案内状の大半が返信なし。こういう人に案内状を出し続けるのはどうか。

【母校との交流】

卒業して母校

は遠ざかるばかり。学校の様子を見聞したいと思っても機会がないと聞いた。催し等で母校に足を運べることでよかったらいいのに。

◇

◇

ざっとこんな調子。解決には難題もありそうです。同窓の集いは、いつも顔を合わせるものの少ない人たちの大切なコミュニケーションの場。総会もそのひとつです。灯した明りはいつまでも消せません。「継続は力なり」です。



〈香川町支部だより〉

香川町支部長 中原 弘

本年、学校創立百周年を迎える事を前提に香川町支部は、平成十九年十二月に、支部組織を町内各小学校区毎に、重点を置いた組織に改編しました。

その後、各々の小学校区毎で、評議員会とか、世話人会等を開催し、きょうの日を迎えました。

百周年記念事業に対する、募金活動については、平成二十二年一月三十一日に開催された、香友会理事、評議員会の事後、同じ松溪館ロビーで香川町支部臨時評議員会を急遽開催しました。

その席で、各小学校区毎に評議員が中心となり、各自治会毎の世話人と協力して、郵便番号別香友会会員名簿に基づいて、募金活動を進めることを確認しました。

経済不況下での募金活動は思うように進まず、大変苦労しました。

でも、組織的に募金活動を進めることができ、多くの方々の賛同ご協力を戴き、本当に有難く感謝して

います。

募金活動の結果、金額的には十分とは言えませんでした。足で稼いで会員同志久方振りに顔を合わせ、絆を深められた事は大きな収穫でした。

平常は、低調気味な支部活動が、百周年と言う記念事業に伴う募金活動を通して、活気を取り戻した事は、大変よかったと思っています。

〈一宮支部だより〉

一宮支部長 日下 豊

平成二十二年八月一日九時よりマツノイパレスにて総会を開催致しました。

来賓として同窓会会長 谷本智昭

様、本校より平尾校長はじめ、山崎先生のご臨席を頂き、誠にありがとうございました。

次の議事について討議しました。

一、平成二十一年度事業報告並びに会計決算報告

一、平成二十二年事業計画案並びに会計予算案

一、その他で百周年記念誌の募金の件

件

すべて原案どおり承認されました。

最後になりましたが、母校並びに会員の皆様のご発展を心よりご祈念申し上げます。

会員各位

一宮支部長 日下 豊

高松南高等学校同窓会 一宮支部総会ご案内

向暑の候、会員の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

標題の同窓会一宮支部総会を下記のとおり開催します。

会員多数お誘い合わせの上ご参会下さいますようご案内申し上げます。

記

- 日時 平成23年8月7日(日)
開会 午前9時00分～
午前8時30分
高松南高等学校松溪館出発
マツノイパレス(香川町)
- 場所
- 内容
 - 開会
 - 支部長あいさつ
 - 来賓祝辞
 - 議事
 - ・会務報告
 - ・決算承認の件
 - ・予算承認の件
 - その他
 - 閉会

卒業生リレー寄稿⑦

「いつまでたっても

南高生!」



昭和62年3月
家政科卒業
真鍋 玉三
(旧姓木場)

南高を卒業し、今年で25年になります。今、我が娘が同じ南高生と言ふ事もあり、娘を含む子共たち三人と会話をする際には、まるで自分も南高生のように話が弾みます。

高校生になれば色々な中学校からの生徒が集まり、中学校の様に右を向いても左を向いても、小学校と同じ顔と言う訳にはいかず、右を向いても左を向いても知らない人ばかりで、そのメンバーに慣れて名前と顔を覚えるのに精一杯だった一年生の初め。

色々なカラーの女の子たちと会い世界が変わったような気持ちになりました。カラーが違うと言えどユーモアたっぷりの先生方にも中学校にはない新鮮味を覚えました。

「砂漠に住む人は目が良いから」キロ先のラクダの背中にハエが止まったのも見えるくらいの視力で5.0だあゝ!!と教えてくれた生物の先生や失恋して泣いている子を見てそっと慰めてくれた数学の先生、「うちの家にはテレビがない!!」と自信満々

「私が」土木科へ
進んだ理由」

昭和60年3月
農業土木科卒業
長尾 憲治

始めに、東日本大震災により、被災された皆様方に心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復興と静穏な日常が訪れますことを心よりお祈りしています。

私が「土木科」へ進んだ理由はまだまだ明かしますが、小さい頃から「大工さん」に憧れていたし、将来の職業としてその道に進むのが夢でした。

しかし転機は中学3年の夏に起こったのです。建築科のある高校には前もって適正検査があり、その中で初めて目にする色覚表。

周りの流れから数字が見えるらしいのですが、ページを次々めくっていてもくら目を凝らしても分かりません。

結果、「色弱」と判明(親はうすうす感じていたそう)。あっさり大工という夢は断たれてしまいました。

途方に暮れている私に担任の先生から「よく似た科があるから、そちらにしたら?」とアドバイスをうけました。それが「土木」の始まりです。

南高校で土木を学んでいくうちに、少しずつ好きになっていったような気がします。

あつと言う間に3年間の月日が経ち、私は高校の某建設会社に無事就職しました。

あれから転職・大学進学・就職と月日を重ね、現在の建設会社に入ってもう22年が経ちます。

今では「私は間違いなく土木に向いている。天職だろう!」って思うまでになりました。

しかし「色弱」と言うだけあって、図面の色塗りや現場での赤いスプレーなどは見にくく未だに苦労しています。

何処かのCMで耳にした事があると思いますが「地図に残る仕事」を私は頑張っていますし、また誇りに思っています。

土木業界にとつて不景気なこの時期、なんとか乗り越えたいものです。

最後に、進学や就職のことで3年間担任だった蓮井先生(現教頭)には、親身になって御指導を頂き大変感謝致しております。

この場を借りますが「本当にありがとうございます。ありがとうございました。」

「振り返れば」



昭和62年度3月
専攻科卒業
姫田 和美

先日、卒業後久しぶりに看護科職員室へ行く機会があり、先生方にあえて高校生に戻ったような気分になりました。先生方は以前の面影があ

り懐かしく感じました。卒業したのがついこの前のようですが平成がやってきて今年で早や23年です。その節はいろいろとありがとうございました。

思い返せば私は体を動かし活気のある職業看護師をめざし看護科へ進みました。しかし、入学してみると医学は奥が深く覚えることだらけでその上教科も多くの毎日が思いのほか大変でした。中でも一番に残っているのが何と言っても病院実習です。実習開始前から基礎看護や記録について先生方から説明を聞き準備をしました。が、それでも不安なまま実習が始まり、前夜には当日に行われる処置検査の予習をし、病院へ行く初めと初めて会う知らない人たちの緊張した会話に加え看護学習、クタクタで帰宅するとその日の記録、看護計画情報収集と毎日が息をつく間もなく過ぎて行きました。

その後卒業し、病院に勤務していましたが今は診療所で働いています。私の住む地域では高齢化が進んでいるので医療分野と介護分野の連携を図り、また、地域包括とも連携を取り一人一人が安心して暮らせるように職員が一つになり頑張っています。

また、プライベートでは家族は母を亡くしましたが結婚し3人の子供に恵まれました。

学生のころではわからなかった気配りの大切さや様々な人とのコミュニケーションの難しさを学び、その中でたくさんの人に支えられ暮らしているのだと実感しました。

最後になりましたがこうして働くことができることに周りの皆様に感謝を忘れずに、今後も自分にできることを精一杯頑張ります。

「私の原点」

平成17年3月
農業土木科卒業
小山 豊史

私は、小学2年生からサッカーを始め、気づけばサッカーの虜になっていました。中学生の時に、高松南高校サッカー部の試合を見て、ここでサッカーをやりたいと心に決め入学しました。

高校時代は、主将を務め、全国大会出場を目標に、サッカーに青春を注ぎました。残念ながら結果を残す



後列右から3番目

ことはできませんでしたが、先生方から、サッカーはもちろん人として大切なこと、やらなければならぬことなど多くのことを学びました。そして、大学へ進学し4年間、高校時代に教えて頂いたことを糧に私なりに成長することができたと感じています。

大学卒業を機に南クラブへ帰ってきました。南クラブは、高松南高校サッカー部OBが主体となり、南クラブをトップチームとして(四国リーグ参戦)、F.C南(香川県リーグ3部参戦)、南シニア(香川県シニアリーグ参戦)、ユース(高松南高校サッカー部)のそれぞれのカテゴリーに分かれ、互いに連携し合いながら高松南高校の北グランドを拠点に活動しています。

私たち南クラブは、互いに仲がよく、人間味あふれる人達ばかりです。高校生の試合は必ず見に行つて応援したり、逆に、高校生が南クラブの試合に来てくれて、声をからしながら、声援を送ってくれます。F.C南の選手や南シニアの選手も応援に駆け付けてくれます。

世代を越えて、互いを認め合い、サッカーというひとつの素晴らしいもので繋がっているチームは、他に無いと思います。

これから先もこの取り組みを大事にしなが、1戦1戦を全力で戦い、応援してくださる皆様の期待に応えられるよう、努力してまいります。皆様の心温かいご声援をよろしくお願いいたします。

「往復時間×5年」

平成11年3月
専攻科卒業
川根 真理
(旧姓村川)

自宅から南高まで、バスと電車を乗り継ぎ片道80分。高校・専攻科と計5年間「往復時間×5年」考えるとゾッとするほどの時間を登下校に費やしていました。

そんな道のりを5年間、一日も休まず通った『皆勤賞』、私のチョットした自慢です。看護の勉強が楽しかったのではなく、部活を頑張ったからではなく、ただ仲間と一緒に居られる学校が楽しかった。クラス替えも無ければ5年間担任も同じ。親よりも生徒の事を知り尽くしている先生と濃厚なクラスメイト、まるで家族のような学校生活が休まず通った理由かな？

そんな苦楽を共にした仲間とは卒業後、就職や結婚でバラバラになったが暇さえあれば電話やメールで何でもない話をし合える親友。帰郷した仲間と偶然バッタリ会うと近況報告から長話になる事も。

私は卒業後、看護師として今の職場でお世話になってます。看護部長をはじめ、先輩・後輩、ここにも南高の仲間がたくさん。縦社会の繋がりがりというか、姉妹のような斜めの繋がりで力を合わせて働いています。

就職後も母校とは縁があり、実習指導という立場で南高生・先生方と関わらせて貰っています。昔はお尻をたたくばかりの先生が、今では



後列右から3番目

「お願いします」と私に頭を下げ、なんだか不思議な光景です。

南高の実習生を特別扱いするつもりはありませんが、母校の後輩とあって指導する側も楽しいです。決して先生からの威圧ではないですよ！

南高を卒業して12年。干支を一回り看護師として働いた私は今、育児中で職場を離れています。毎日時間に追われる生活から、今は子供中心ですが時計を見ないのんびりした生活を送っています。そんな時この原稿依頼があり、学生生活から今を振り返り母校や仲間と縁、『腐れ縁』を改めて感じている今日この頃です。

「よこのみかた」

平成18年3月
施設園芸科卒業
渡邊(佐川) 裕磨

私は、平成17年度に施設園芸科を卒業した渡邊です。現在は在学時よ



り夢であつた保育士として働いています。現在2年目のまだまだ駆け出しです。

在学中はギター部に所属しており、ストリートライブや文化祭でのライブなどたくさん思い出が頭に浮かびます。その頃は、街行く人や友達にギターを弾いていましたが、今では保育園の子どもたちに弾いて一緒に歌っています。子どもに「先生、ギターかっこよかったよ」と言われたり、ブロックでギターを作つて「見て見て、ほくもギター弾けるよ」などと言われた時は本当に学生時代やつていてよかったと感じました。自分の特技も生かせるこの仕事にとってもやりがいを感じています。ここまで来れたのも家族や先生や友人の助けや学校の整った環境があつたからだと思います。その人たちに感謝して今の保育士という仕事を直向に頑張っていきたいと思います。今でも高松南高校で高校生活をおくれば本当によかったと感じます。

創立百周年記念行事

記念コンサート開催

植松おさみ&起代子

ジョイントコンサート

ピアノと語りで

楽しいひとときを!!

(内容案)

曲目「蕪村句集」やピアノソロ1〜2曲など

一日時 平成23年11月3日(木)

10時45分〜11時30分

二会場 本校南体育館

植松修幹氏紹介

一九六六年 本校普通科卒業

一九八七年 日本大学商学部卒業

一九八七年 西日本放送(株)入社

一九八七年 アナウンス部部长

一九九五・九六年

日本テレビ系列合同アナウンス研修会特別

講師

二〇〇三年 西日本放送早期退社

以後も引き続き西日本放送ラジオ「カラオケ・ステージ」の司会を担当

香川県知事より香川県知事公室情報発信参与企画参与として委嘱を受ける

創立100周年記念事業実行委員会
記念誌編纂専門委員会報告

一 今年度記念誌編纂専門委員

檜垣・木内(農業)・岡田(家庭)・末澤(PTA)・遠藤(同窓会)・看護・西村(同窓会)・梶原(特活)・亀田(同窓生)・緒方(特活)・校長連井(教頭)・廣瀬(顧問)

二 経過報告

・活動実績 通算69回
(6月6日現在)

三 進捗状況概要

- ◇巻頭口絵に本館完成以降に撮影された航空写真を掲載
- ◇百年の歩み(通史)
- ◇60年史完全復刻
- ◇続四十年史(昭和46年〜平成23年まで)見開き
- ◇学科紹介
- ◇課外活動 平成23年総体までの活動までを掲載
- ◇記念座談会
- ◇南高のすがた(現況) 等々



◇60年史完全復刻版



◇毎週月曜日定例編集委員会が開催され、大詰めの編纂作業に余念がない。

南校地周辺の樹木
(ケヤキ・アカメグス)
の一部伐採について

県立香川高等女学校の創立期に、生徒・教員の方で校舎があった南校地周辺に20〜30センチの苗木を植樹し、当時の生徒たちが手塩にかけて育てた木々も今では大きく繁り深い緑蔭をつくっています。しかしながら、野球の練習ボールが既存の防球ネットをたびたび飛び越え危険であったことから練習に支障をきたしており、学校側が予てより要望しておりました南運動場防球ネット等改修工事の本年度施工が決定されこのことは大変喜ばしいことではあるのですが、この工事を施工するにあたり、南校地周辺道路の幅員が拡張されることとなり、校地東側にある全ての樹木26本(ケヤキ13本、クスノキ13本、枯れ木除く)が道幅にかかると伐採をしなければならなくなりました。これらの事情を学校側より同窓会へ説明があり、検討の結果やむを得ないことと了承いたしましたのでここに報告いたします。

高松南高校100周年 シンボルマークも 進化しています

3-1 横岡 瑞さん



四国大会で優勝

今年1月の高校ボクシング大会において、バンタム級の四国チャンピオンとなった、3年8組上山功大君。

ジムに通って1年半の快拳である。

上山君は、試合1週間前からサウナスーツを着て6〜7kgの減量を行い試合に臨んでいます。



平成23年度

南 高 祭

テーマ 刻もうぜ 新たな歴史
～南高100周年NEW WORLD～

1-7 中山 史香さん

9月10日(土)9:30~15:00
(終日一般公開)

バザー、野外展示、教室展示、ステージ活動、看護科展
環境科科学展、環境科学都市園芸コース販売、家政科展
家政科(服飾デザインコース)ファッションショー等

キャラクター

2-7 佐々木 唯さん



高松南高等学校吹奏楽部 第31回定期演奏会
2021年8月11日(木) サンポートホール高松・大ホール

香川県立高松南高等学校吹奏楽部 第32回定期演奏会

日時 平成23年8月11日(木) 18:00開演

会場 サンポートホール高松・大ホール

曲目 第1部
♪百年祭
♪今年度 吹奏楽コンクール課題曲 I
マーチ「ライヴラリーアヴェニュー」

第2部
♪ジャニーズメドレー

第3部
♪「プリマヴェーラ」美しき山の息吹き
♪「千と千尋の神隠し」ハイライト

♪ご来場をお待ちしております♪

全席自由
入場無料



平成23年度香友会評議員会及び 総会の開催について(ご案内)

向暑の候、会員各位におかれましては益々ご健勝にてご活躍のことと、お慶び申し上げます。

さて、例年のとおり、同窓会(香友会)の通常総会を下記日程にて開催いたしますので、友人、知人、お誘い合わせの上ご出席くださるようご案内申し上げます。

1. 日 時 平成23年8月7日(日) 10:00～
2. 場 所 評議員会・総会 マツノイパレス(香川町)
懇親会 マツノイパレス(香川町)
3. 日 程 9:30～10:00 受付(マツノイロビー)
10:00～11:00 評議員会・総会
11:00～ 懇親会

マツノイパレスのバス(45人乗)が学校から会場まで送迎しますので、ご利用ください。

8:30 高松南高校正門出発

4. 議 事 ① 平成22年度事業報告並びに会計決算報告
② 平成23年度事業計画案並びに会計予算案
③ その他

- 恐れ入りますが、準備の都合上、ご出席の有無を **7月22日(金)**までに、電話、ファックス等で事務局までご連絡下さい。
- 懇親会の会費(4,000円)は、当日徴収させていただきます。

香川県立高松南高等学校香友会事務局

遠藤 百合子

TEL (087)885-1131 FAX (087)885-1133

----- ✕ ----- 切り取り線 ----- ✕ -----

FAX送付書(高松南高校 FAX番号087-885-1133)

平成23年 月 日

香川県立高松南高等学校香友会事務局宛

送信者ご芳名

ご 住 所

T E L

平成23年度香友会総会(8月7日)

() 出席します

() 欠席します

・その他連絡事項